

## ■簡易NPC一覧

氏名	NPCについて	主な登場スレッド
黒澄綾 (くろすみ・あや)	狂気の人音楽少女。 究極の音楽の完成の為に、シャンと協力して帝都の裏側で蠢いている。	綾の影
毛利元子 (もうり・もとこ)	音楽好きなシャンの一族の責任者であり、陰謀を巡らして神殿の再起動を試みている。 黒澄綾の究極の音楽を奏することで、神殿が再び宇宙へ飛び立たせるものだと考えている。	元子
吉川春子 (きっかわ・はるこ)	すでに死亡しているか、シナリオには登場できない状態になっている。 その遺産を巡って、元子たちと争うことになる。	※前シナリオで死亡している
小早川隆子 (こばやかかわ・たかこ)	音楽好きなシャンの一族の神官であり、黒澄綾の信奉者。 綾の究極の音楽をもって多次元の門を開き、アザトースと恒久的な繋がりを作ることを考えている。	隆子
『夢見草の会』	平岡頼子、松野重、滝川辰、長崎元、堀田吉の5人。 小早川隆子が小幡とらの声楽部を嫌って組織した音楽同好会『夢見草の会』のメンバー。安藤雪子のフルート演奏を促す。	雪子、隆子
安藤雪子 (あんどう・ゆきこ)	オペラ座館が休館中、暇を持て余していたところに隆子からフルートを受け取り、その演奏にのめり込む。 『夢見草の会』のメンバーに可愛がられ、よく演奏に誘われている。	雪子
小幡とら (おばた・ー)	桜嶺女学院の生徒で、声楽部の部長。 夏休みを利用して軽井沢に逃亡中であり、シナリオ内には基本的に登場しない。	
真田幸 (さなだ・ゆき)	桜嶺女学院の女教師。 前回のシナリオで受けた傷が癒えておらず、同時に英国の古い知り合いからも頼られて動きがまともに取れない。	桜嶺女学院
鈴木重兵衛 (すずき・じゅうべえ)		書生、魔王の弟子達
高坂正信 (こうさか・まさのぶ)	馬場家の書生。今回は暇を持て余しており、探索者の要請があれば大体のことは手伝ってくれる。	書生
北一輝 (きた・いっき)	春子派が頼っていた怪しげな人物。反社会主義的なオカルティスト。 春子を利用し、利用されていたに過ぎない。	書生、魔王の弟子達
『魔王の弟子達』	小出秀夫、前野忠志、駒井安元、脇坂友保、篠原国彦の5人。 北一輝の弟子だったものが、春子派にまるっと入れ替わったものの、春子が粛清された為に、瓦解し、元子派より逃げ回っている状態である。	魔王の弟子達
篠原国彦 (しのはら・くにひこ)	魔王の弟子の一人。 陸軍中尉、参謀部に所属しており、『帝都改造計画』に関わっている。	帝都改造計画
山県雅子 (やまがた・まさこ)	桜嶺女学院の生徒で声楽部に所属。黒澄綾に焦がれ、自身で音楽を奏でようになる。	雅子
諏訪白 (すわ・しろ)	山県家の使用人。雅子と同世代の少女で、その身の回りの世話をしている。	雅子
英元英 (はなぶさ・もとひで)	浅草に住む、天文台に出仕する若い天文学者。 ネメシス(グロス)を発見したことで体調を崩す。	女学生、浅草
明石耀/澄 (あかし・てる/すみ)	浅草に住む双子。 その正体は吉川春子が実験の為に製造したシャッガイの女王。	浅草
『オペラ座少女探偵団』	星川映見、月野喜多、深雪銀子、千鳥美波の4人(千鳥は正式に所属はしていないものの、所属扱いにしている)。 『オペラ座少女歌劇団』のメンバーが暇を持て余して、浅草において音楽の天使の探索を行う為に組織。 女学生探索者に協力する。	浅草
浅草の猫達	レディ・ワイルドを中心に、主に英の飼い猫であるトラ、ワガハイが音楽の天使の探索に協力する。	浅草
竹中重子 (たけなか・しげこ)	雪子と寮が同室の友人。またもや何かに打ち込む雪子の姿を探索者に相談する。	雪子
津谷恵理子 (つや・えりこ)	桜嶺女学院の生徒で声楽部に所属。ヴィオール弾き。	桜嶺女学院
ミ=ゴ達	黒澄綾、シャン達の音楽を止める為に帝都に蠢くミ=ゴ達。	ミ=ゴ
イワン・イワノフ	ロシアから『不吉の宝石』、アザトースの種子の欠片を追って来たミ=ゴ。 その探索はあまり上手く行っておらず、探索者や元子側の手の者呼び寄せの結果となる。	ロシアからの使者
吉見頼意 (よしみ・よりおき)	元子の雇われ探偵であったが、『不吉の宝石』に魅入られ、これを強奪して逃亡する。 しかし、『不吉の宝石』の影響により死亡寸前の状態になっている。	ロシアからの使者
イグナチェフ家	ロシアからの亡命貴族で、『不吉の宝石』の元の持ち主。 芝区高輪にひっそりと頭首のザミラが暮らしているが、長男のコンスタンチンは宝石を奪って行方を晦まし、次男のウラジミールはミ=ゴに脳佐詰にされ、その他の家族は死亡するか、行方不明になっている。	ロシアからの使者
(女学生探索者の父)	麻布から三鷹へ本格的に天文台が移転の為、引越しを検討している。 この忙しさの中、再びグロスを発見し、また観測に力を注ぐ。	女学生